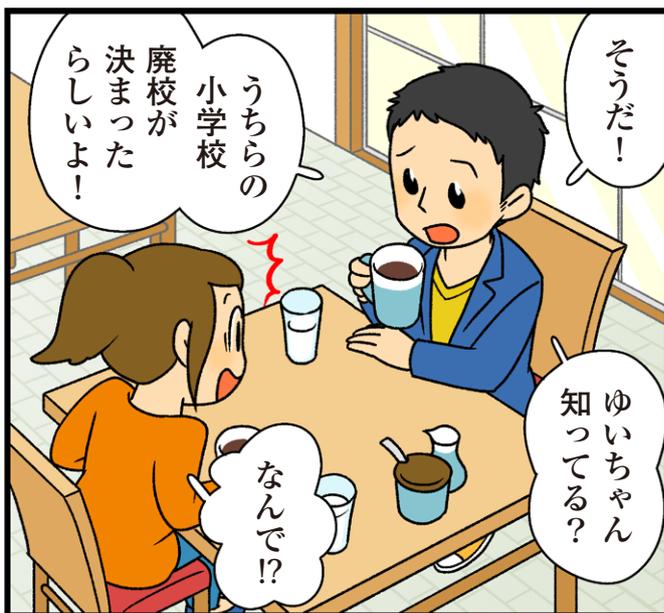
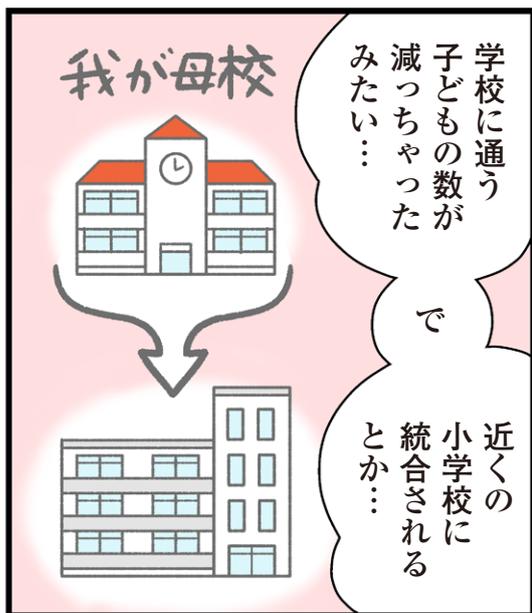
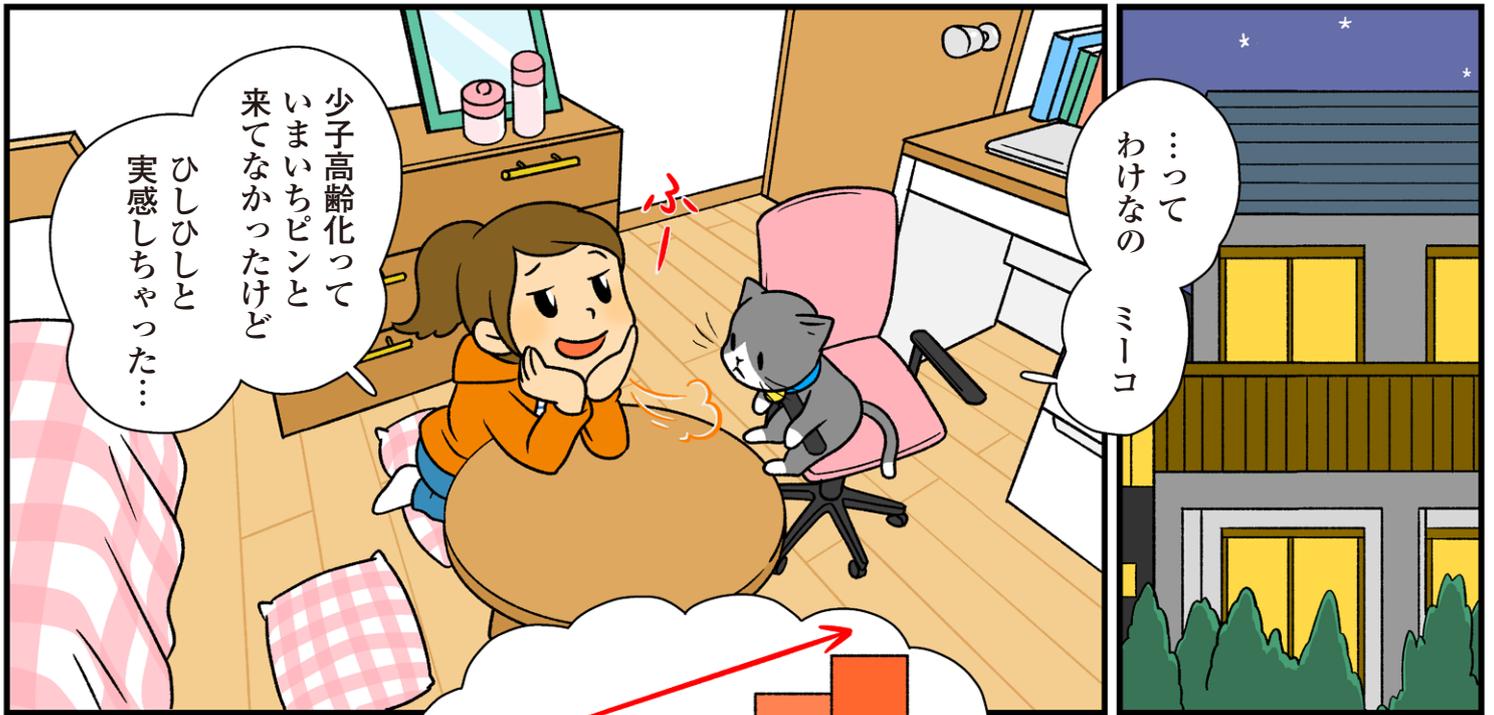




Q.07

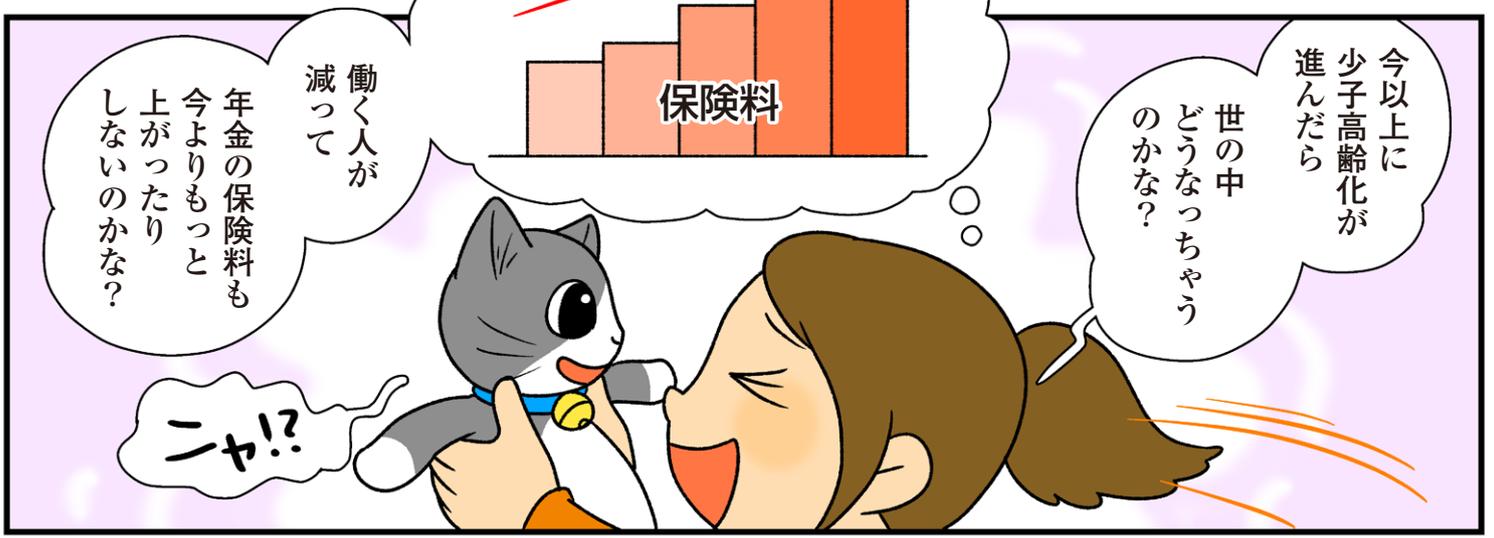
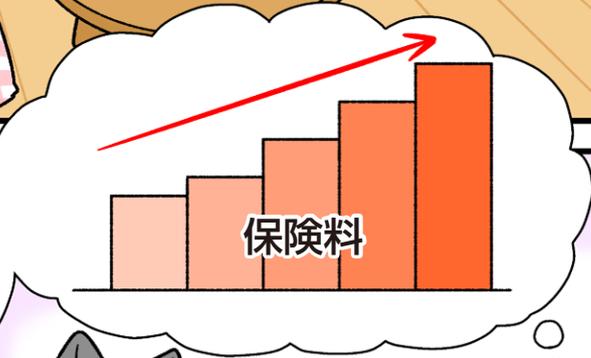
少子高齢化が進むと保険料率をもっと上げないといけないの？





…って
わけなの
ミーコ

少子高齢化って
いまいちピンと
来てなかったけど
ひしひしと
実感しちゃった…



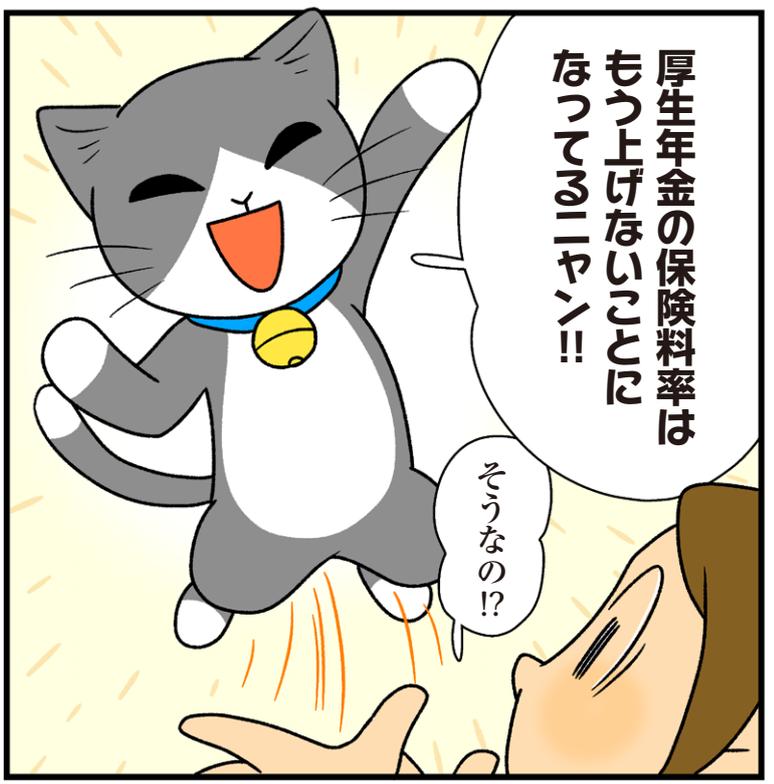
今以上に
少子高齢化が
進んだら
世の中
どうなっちゃう
のかな？

働く人が
減って
年金の保険料も
今よりもっと
上がった
りしないのかな？

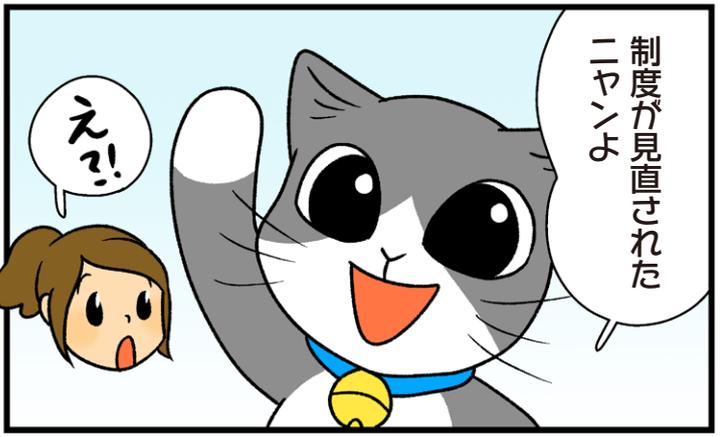
ニャ!?



でも
なんで?!
なんの
切で
のね?

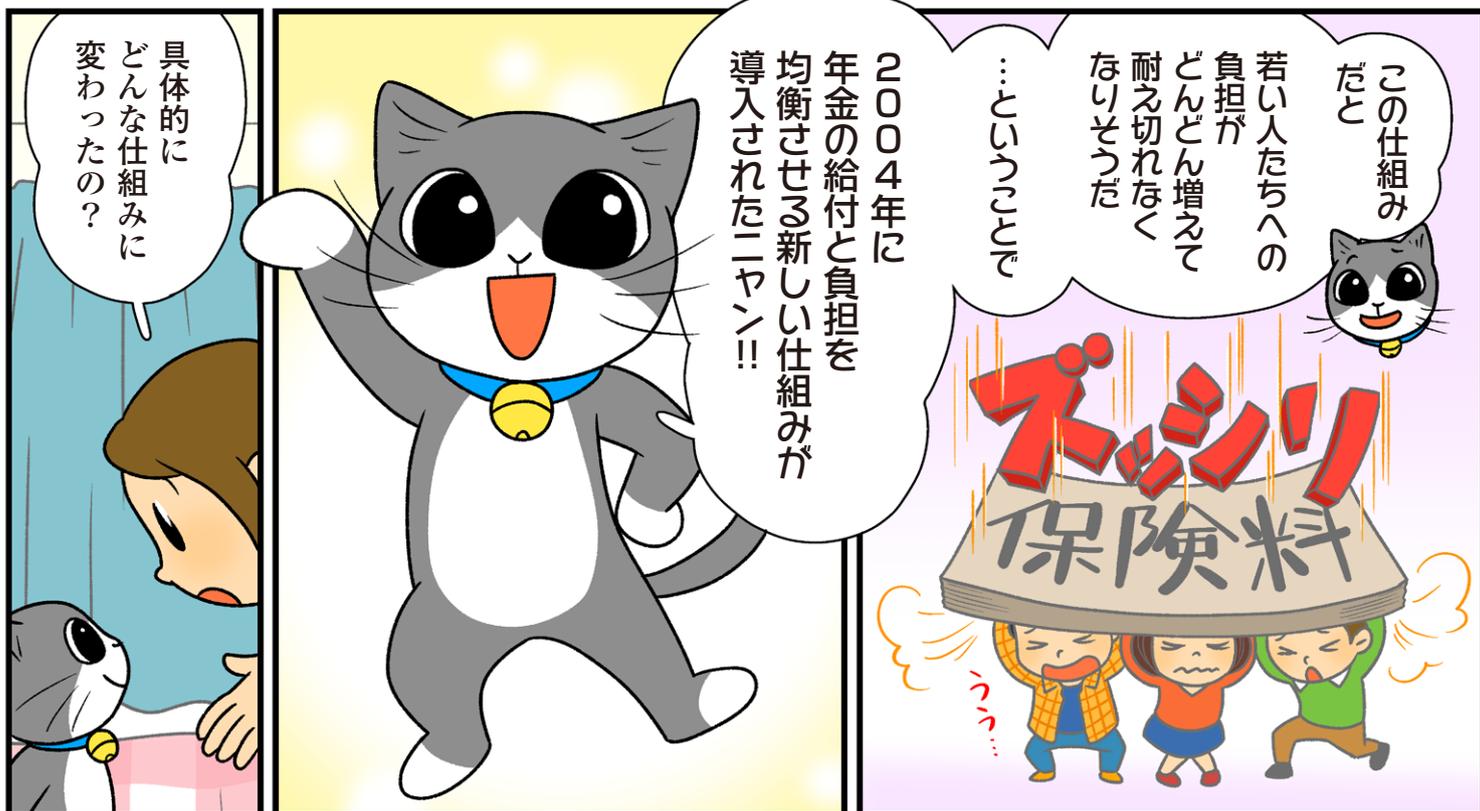
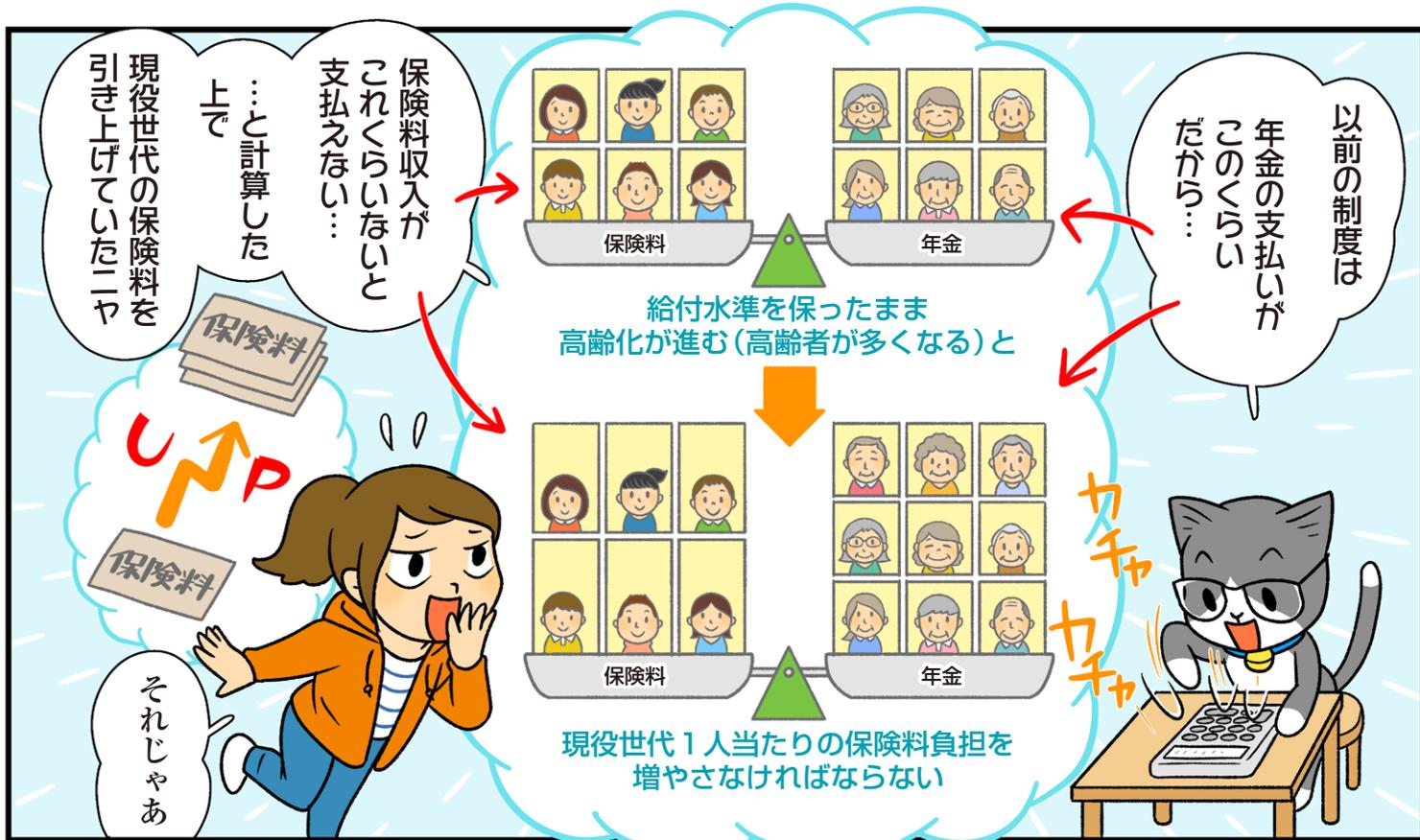


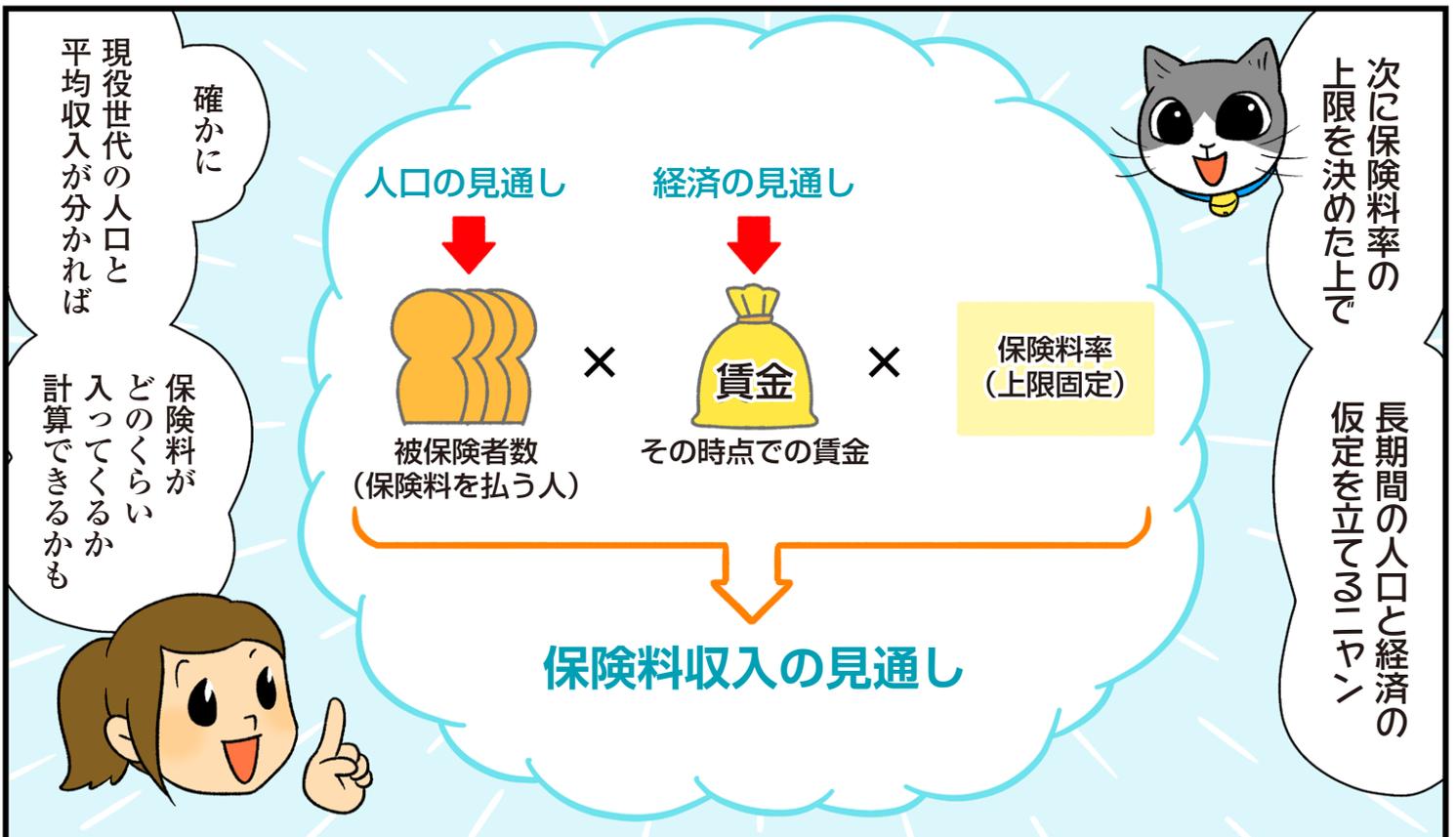
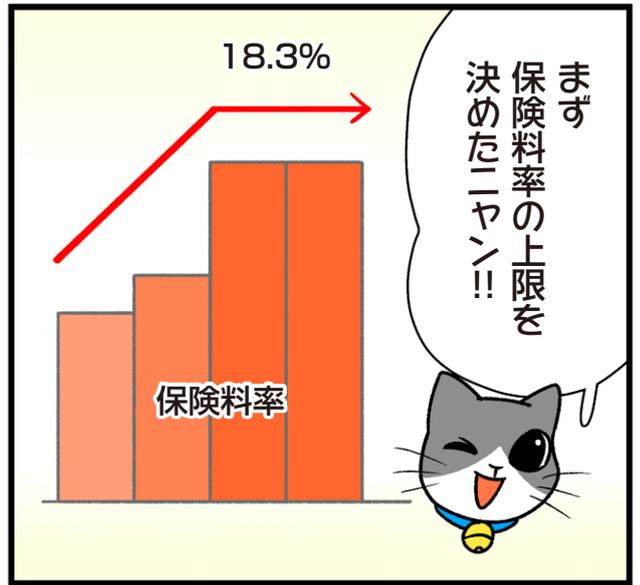
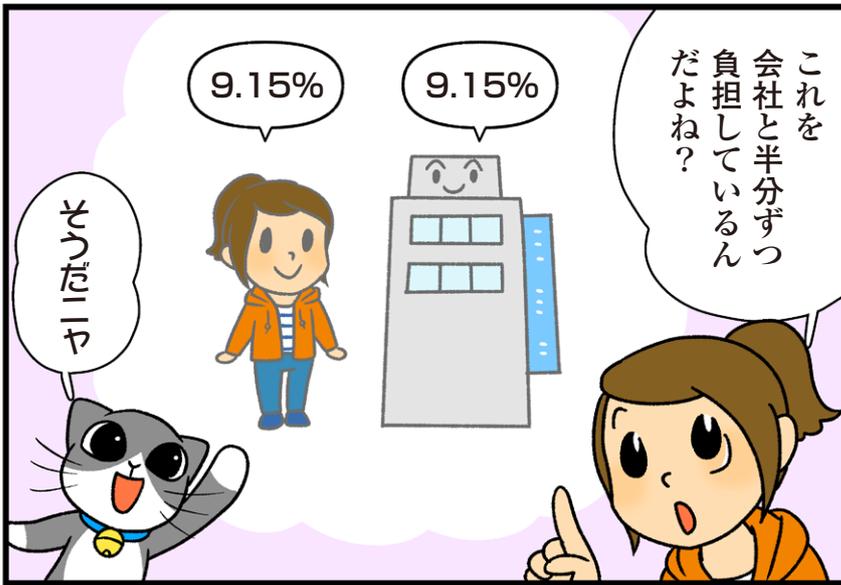
厚生年金の保険料率は
もう上げないことに
なってるニヤン!!
そうなの!?

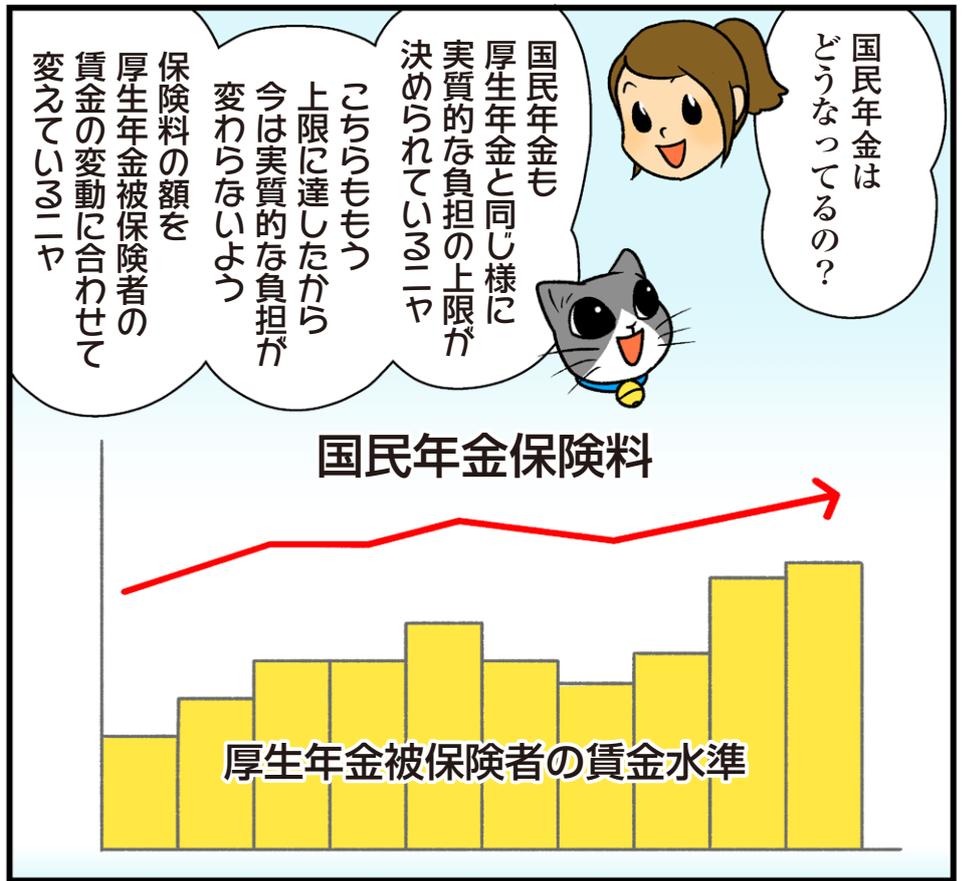


制度が見直された
ニヤンよ

え?!







本来
年金は毎年

現役世代の賃金や
物価の変動をもとに
支給額を改定
するんじゃないけれど

スライド
調整率

賃金(物価)

年金改定率

年金額が
保険料収入で
やりくりできる
水準になるまでは

賃金や物価の
伸びよりも
少し低い伸びで
改定するようには
いるんだニヤ

だからこそ
将来の姿を一つに
決めつけずに

幅広い色々なケースを
想定した「見直し」を
考える必要があるニヤン

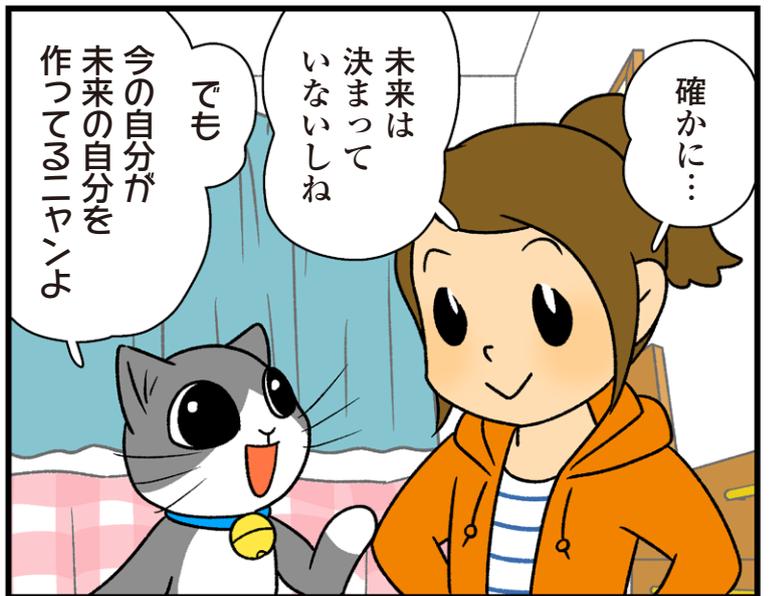
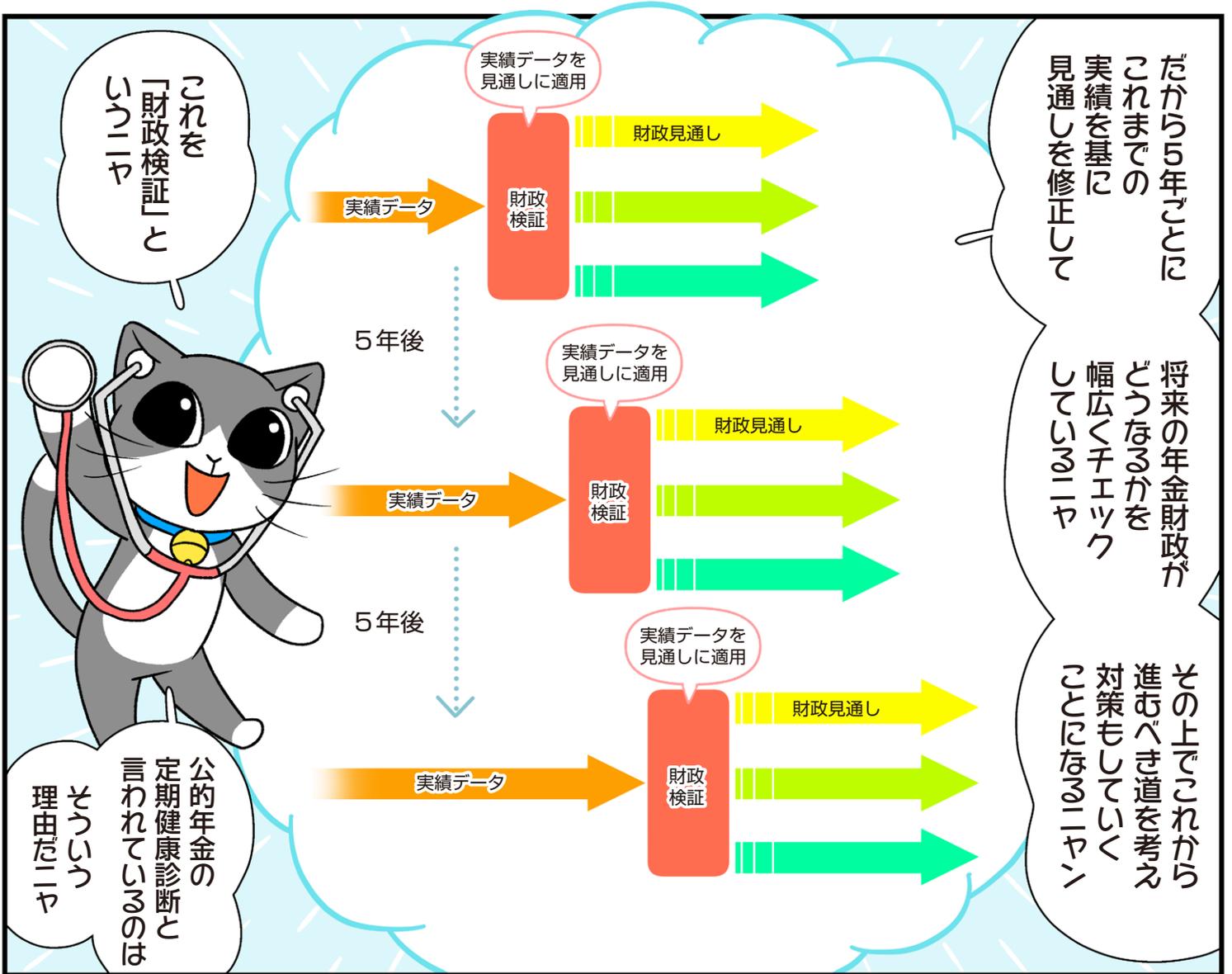
なるほど

そもそも未来は
決まってないニヤン

そもそも
長期間の仮定を
立てるって言うても
そんな未来のことが
分かるものなの？

ふんふん

そして
その「見直し」も
定期的に作り直す
必要があるニヤン



A.07 これ以上保険料水準は上げないことにしている。そのかわり、給付額の伸びを少しずつおさえる仕組みが導入された。収入(と積立金)の範囲でどれだけの年金を支払える見通しかを定期的に確認している。

